



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月21日

上場取引所 東

上場会社名 アツギ株式会社

コード番号 3529 URL <http://www.atsugi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 洋志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括 (氏名) 岡田 武浩

TEL 046-235-8107

四半期報告書提出予定日 平成28年11月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	11,146	△3.2	596	254.0	453	13.4	283	△5.2
28年3月期第2四半期	11,518	△0.0	168	37.9	399	△3.0	299	△8.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1,121百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 80百万円 (△93.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	1.72	—
28年3月期第2四半期	1.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	55,654	46,708	83.7
28年3月期	56,944	48,324	84.6

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 46,591百万円 28年3月期 48,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	2.2	880	1.4	1,100	△3.7	800	△33.0	4.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	173,195,689 株	28年3月期	173,195,689 株
29年3月期2Q	8,750,290 株	28年3月期	8,736,317 株
29年3月期2Q	164,450,649 株	28年3月期2Q	168,489,393 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策のもと、一部企業による収益・雇用情勢の改善などにより、緩やかな回復傾向がみられました。一方で、中国をはじめとした新興国経済の減速懸念や世界的な景気減速などによる不安定な為替・株式市場等の影響などにより、引き続き先行き不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、税・社会保険料等の増加など、将来の負担増に対する防衛意識の高まりなどによる低調な個人消費や企業間競争が一段と激化し、依然として厳しい環境にあります。

このような状況において当社グループは、中期経営計画『ATSUGI VISION 2017』で掲げた5つの経営課題「製造原価の低減」、「強いアツギブランドの構築」、「営業戦略の強化」、「海外販売の拡大」、「人事戦略の強化」を念頭に、原料加工から最終製品までを一貫生産し販売する専門メーカーとして、価格を上回る価値ある商品の企画開発と、グループ全社を挙げて効率性アップに取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,146百万円(前年同四半期比3.2%減)、営業利益は596百万円(前年同四半期比254.0%増)、経常利益は453百万円(前年同四半期比13.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は283百万円(前年同四半期比5.2%減)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

〔繊維事業〕

靴下部門はプレーンタイツなどの秋冬商品の導入は進みましたが、全般的には厳しく、ファッション商品やソックスも伸び悩み、同部門の売上高は9,068百万円(前年同四半期比6.0%減)となりました。

インナーウェア部門はスポーツインナー関連が引き続き順調に推移したほか、主力のブラジャーおよびショーツも好調に推移し、同部門の売上高は1,453百万円(前年同四半期比8.3%増)となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は10,522百万円(前年同四半期比4.2%減)、営業利益は334百万円(前年同四半期は74百万円の損失)となりました。

〔不動産事業〕

不動産事業は保有資産の有効活用などにより、当事業の売上高は334百万円(前年同四半期比1.4%増)、営業利益は238百万円(前年同四半期比4.6%減)となりました。

〔その他〕

その他の事業につきましては、介護用品の市場環境の変化などにより、厳しい状況が続いております。また、平成27年11月6日より太陽光発電による売電を開始いたしました。これらの結果、当事業の売上高は289百万円(前年同四半期比44.2%増)、営業利益は22百万円(前年同四半期は7百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態〕

当第2四半期連結会計期間末における総資産は55,654百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,289百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少1,108百万円、たな卸資産の増加880百万円、有形固定資産の減少563百万円および投資有価証券の減少303百万円等によるものであります。

負債の部は8,946百万円となり、前連結会計年度末に比べ326百万円増加いたしました。これは主に、通貨オプションの増加697百万円、未払金の減少406百万円および仕入債務の増加111百万円等によるものであります。

純資産の部は46,708百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,616百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益283百万円の計上や、前期決算に係る配当金493百万円による減少およびその他の包括利益累計額の減少1,391百万円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は83.7%(前連結会計年度末は84.6%)となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益 474 百万円、減価償却費 531 百万円等がありましたが、たな卸資産の増加 1,085 百万円等により、差引 15 百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得 366 百万円、投資有価証券の売却 150 百万円等により 241 百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により、489 百万円の支出となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ 979 百万円減少し、6,563 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の動向等を勘案し、平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成 28 年 10 月 20 日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(平成 28 年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成 28 年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第 32 号 平成 28 年 6 月 17 日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成 28 年 4 月 1 日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第 26 号 平成 28 年 3 月 28 日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,675	7,566
受取手形及び売掛金	4,279	4,170
商品及び製品	4,389	5,561
仕掛品	2,052	1,889
原材料及び貯蔵品	636	507
繰延税金資産	265	421
その他	345	249
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	20,634	20,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,759	5,528
機械装置及び運搬具(純額)	3,744	3,397
土地	16,310	16,310
建設仮勘定	131	168
その他(純額)	184	162
有形固定資産合計	26,130	25,567
無形固定資産	371	331
投資その他の資産		
投資有価証券	9,199	8,896
繰延税金資産	0	1
その他	606	501
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	9,806	9,399
固定資産合計	36,309	35,297
資産合計	56,944	55,654

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,566	2,677
未払法人税等	216	210
賞与引当金	119	121
その他	1,266	1,551
流動負債合計	4,169	4,561
固定負債		
繰延税金負債	885	824
再評価に係る繰延税金負債	1,850	1,850
退職給付に係る負債	1,320	1,340
その他	394	369
固定負債合計	4,450	4,385
負債合計	8,619	8,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,706	31,706
資本剰余金	9,345	9,345
利益剰余金	4,981	4,771
自己株式	△942	△943
株主資本合計	45,091	44,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,587	2,434
繰延ヘッジ損益	△36	△519
土地再評価差額金	△406	△406
為替換算調整勘定	958	203
その他の包括利益累計額合計	3,103	1,712
非支配株主持分	129	116
純資産合計	48,324	46,708
負債純資産合計	56,944	55,654

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	11,518	11,146
売上原価	8,033	7,218
売上総利益	3,485	3,927
販売費及び一般管理費	3,316	3,331
営業利益	168	596
営業外収益		
受取利息及び配当金	112	115
持分法による投資利益	0	—
為替差益	131	—
その他	31	32
営業外収益合計	275	147
営業外費用		
持分法による投資損失	—	31
為替差損	—	223
その他	43	35
営業外費用合計	43	290
経常利益	399	453
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	1	34
特別利益合計	1	34
特別損失		
固定資産除却損	12	13
減損損失	11	—
特別損失合計	23	13
税金等調整前四半期純利益	377	474
法人税、住民税及び事業税	168	136
法人税等調整額	△92	50
法人税等合計	75	187
四半期純利益	302	287
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	299	283

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	302	287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	△153
繰延ヘッジ損益	△132	△483
為替換算調整勘定	△96	△722
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△49
その他の包括利益合計	△221	△1,408
四半期包括利益	80	△1,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79	△1,108
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	377	474
減価償却費	514	531
減損損失	11	—
のれん償却額	16	16
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	24	22
受取利息及び受取配当金	△112	△115
持分法による投資損益 (△は益)	△0	31
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△34
有形固定資産除却損	12	13
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△388	74
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△863	△1,085
仕入債務の増減額 (△は減少)	99	111
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△206	76
その他	△60	△74
小計	△578	44
利息及び配当金の受取額	112	115
法人税等の支払額	△91	△143
営業活動によるキャッシュ・フロー	△556	15
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△546	△537
定期預金の払戻による収入	236	547
有形固定資産の取得による支出	△385	△366
有形固定資産の売却による収入	17	—
無形固定資産の取得による支出	△2	△15
投資有価証券の取得による支出	△101	△19
投資有価証券の売却による収入	44	150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△737	△241
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△501	△487
自己株式の増減額 (△は増加)	△3	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△504	△489
現金及び現金同等物に係る換算差額	56	△264
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,741	△979
現金及び現金同等物の期首残高	8,954	7,543
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,212	6,563

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	10,987	329	11,317	200	11,518	-	11,518
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	-	1	-	1	△ 1	-
計	10,988	329	11,318	200	11,519	△ 1	11,518
セグメント利益又は損失(△)	△ 74	250	175	△ 7	168	-	168

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売および太陽光発電事業であります。なお、太陽光発電設備は建設中であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	10,522	334	10,856	289	11,146	-	11,146
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	-	3	-	3	△ 3	-
計	10,526	334	10,860	289	11,149	△ 3	11,146
セグメント利益	334	238	573	22	596	-	596

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売および太陽光発電事業であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。